



# ESET Endpoint Protection シリーズ

## クライアント管理用プログラム

### ESET PROTECT V8

#### 機能紹介資料



ENDPOINT  
PROTECTION  
ADVANCED

イーセット エンドポイント プロテクション アドバンスド



ENDPOINT  
PROTECTION  
STANDARD

イーセット エンドポイント プロテクション スタンダード

第2版

2021年3月15日

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

# もくじ

1. はじめに（本資料について）
2. ESET PROTECT(EP)とは
3. ESET PROTECTの構成
4. Webコンソールのご紹介
  - ・ログイン画面
  - ・Webコンソールの画面構成
  - ・Webコンソールの画面構成（メインセクション）
5. ログ監視機能のご紹介
  - ・ダッシュボード
  - ・コンピューター
  - ・検出
6. クライアント管理機能のご紹介
  - ・レポート
  - ・グループ
  - ・ポリシー
  - ・タスク
  - ・インストーラー
  - ・通知
7. サーバー運用管理機能のご紹介
  - ・ユーザー管理
  - ・監視・監査
8. モバイルデバイス管理機能（iOSデバイスの管理）
9. ESETクライアント管理 クラウド対応オプション

# 1. はじめに（本資料について）



本資料は2021年2月10日より、「ESET Endpoint Protection シリーズ」で新たに提供を開始した、クライアント管理用プログラム（ESET PROTECT V8）の機能を紹介している資料です。本プログラムは、旧バージョンのクライアント管理用プログラム（ESET Security Management Center V7）の後継プログラムです。

旧プログラム名	新プログラム名	種別
ESET Security Management Center (Windows版)	ESET PROTECT (Windows版)	クライアント管理用プログラム
ESET Security Management Center (Linux版)	ESET PROTECT (Linux版)	クライアント管理用プログラム

- ・本資料で使用している画面イメージは使用するOSにより異なる場合があります。  
また、今後画面イメージや文言が変更される可能性がございます。
- ・ESET Endpoint Protection シリーズではクライアントOSおよびサーバーOSの端末に導入するプログラムとしてWindows、Mac、Linux、Android OS向けのプログラムをご使用いただけます。  
各プログラムの機能紹介は別資料をご用意しています。
- ・Windows、Windows Server、Microsoft Edge および Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporation の米国、日本および  
その他の国における商標登録または商標です。macOS、OS X および iPhoneは、米国およびその他の国で登録されている  
Apple Inc. の商標です。

## 2. ESET PROTECT(EP)とは

ESET PROTECT (EP)とは、ESET Endpoint Securityなどのウイルス・スパイウェア対策プログラムをネットワーク経由で統合管理するプログラムです。Windows、Mac OS X、Linux、Android向けプログラムを管理できます。また、iOSデバイスを管理することも可能です。 (※)

ESET PROTECT V8 で管理可能なプログラム(2021年3月時点)

管理可能なプログラム	種別	バージョン
ESET Endpoint Security	Windows クライアントOS向け 総合セキュリティプログラム	8.0 / 7.X
ESET Endpoint アンチウイルス	Windows クライアントOS向け ウイルス・スパイウェア対策プログラム	8.0 / 7.X
ESET File Security for Microsoft Windows Server	WindowsサーバーOS向け ウイルス・スパイウェア対策プログラム	7.X
ESET Endpoint Security for OS X	Mac クライアントOS向け 総合セキュリティプログラム	6.8 以降
ESET Endpoint アンチウイルス for OS X	Mac クライアントOS向け ウイルス・スパイウェア対策プログラム	6.8 以降
ESET NOD32アンチウイルス for Linux Desktop	Linux クライアントOS向け ウイルス・スパイウェア対策プログラム	管理不可
ESET File Security for Linux	LinuxサーバーOS向け ウイルス・スパイウェア対策プログラム	7.2
ESET Endpoint Security for Android	Android OS向け 総合セキュリティプログラム	2.x

※EPでは、iOSデバイスの管理が可能ですが、iOS向けのウイルス対策機能はございません。

※クライアント管理用プログラムのバージョンによって管理できるクライアント用プログラムに差異があります。

詳細は以下サポートページをご参照ください。

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/143?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/143?site_domain=business)

## 2. ESET PROTECT(EP)とは



### EPの主な機能

EPを使用することにより、 ESET Endpoint Securityなどウィルス・スパイウェア対策プログラムをネットワーク経由で統合管理することができます。EPは主に以下の3つの機能で構成されています。

#### ログ監視機能

- ・ダッシュボード
- ・コンピューター
- ・検出

#### クライアント管理機能

- ・レポート
- ・グループ
- ・ポリシー
- ・タスク
- ・インストーラー
- ・通知

#### サーバー運用管理機能

- ・ユーザー管理
- ・監視・監査

5.ログ監視機能  
のご紹介を参照

6.クライアント管理機能  
のご紹介を参照

7.サーバー運用管理機能  
のご紹介を参照

### 3. ESET PROTECTの構成



ESET PROTECTは以下のコンポーネントから構成されています。

#### ESET PROTECT (EP)

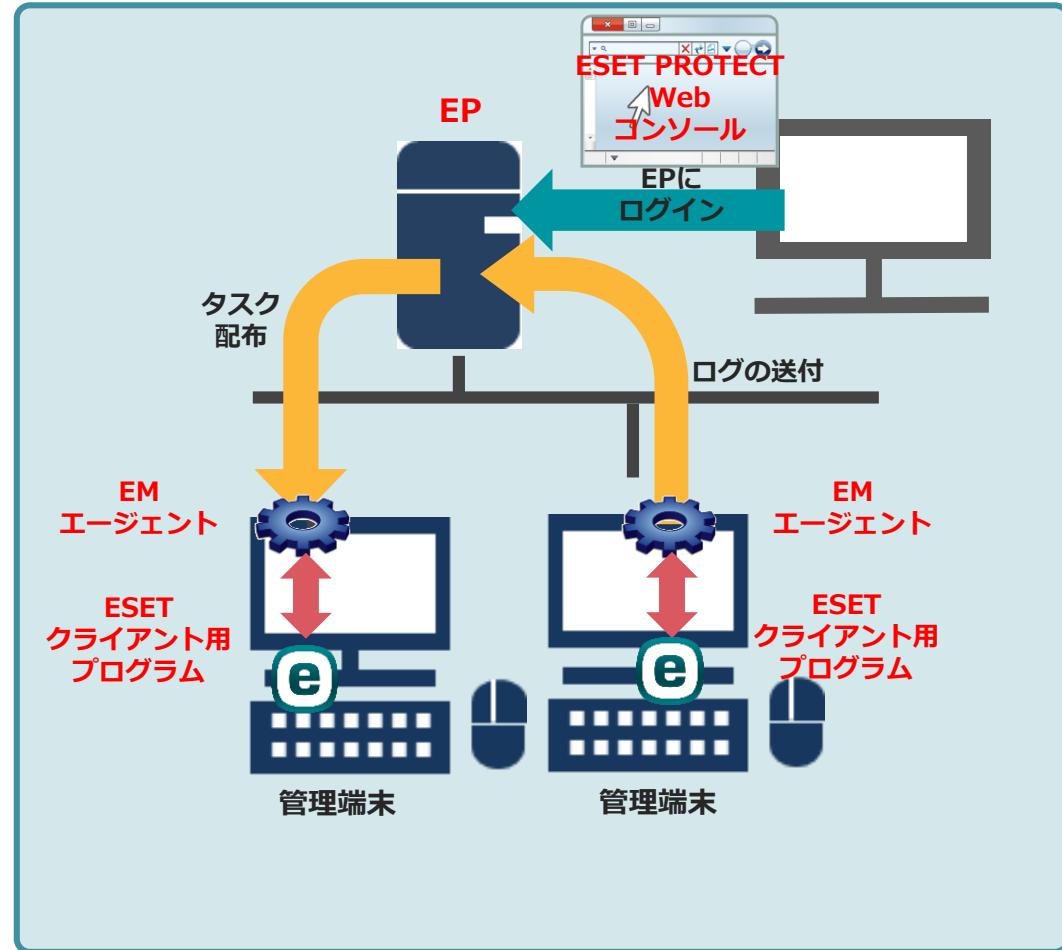
EPはクライアントプログラムの情報収集やタスク配布などを行います。クライアントとの通信はエージェントを経由して行います。

#### ESET PROTECT Webコンソール

WebコンソールはWebベースのインターフェースであり、ブラウザーを使用してEPへアクセスします。ブラウザー経由でクライアント情報の閲覧やEPの設定変更などを行うことができます。

#### ESET Managementエージェント (EM エージェント)

エージェントは、クライアントから情報を収集し一定の間隔毎でEPへデータを送信します。また、EPからのタスク配布などはエージェントへ送信されたのち、エージェントがクライアントへ送信します。



### 3. ESET PROTECTの構成



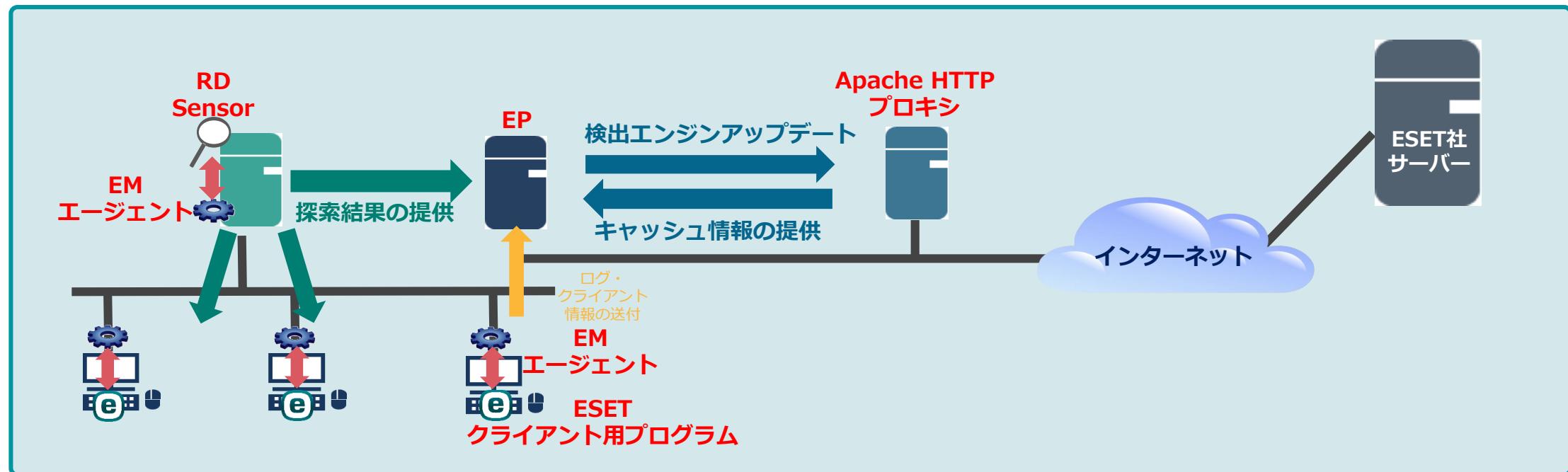
以下のコンポーネントは任意で構成します。

#### Rogue Detection Sensor(RD Sensor)

RD Sensorはネットワーク上のコンピュータを探索し、EPに追加するツールです。追加したコンピュータに対してEPよりEM エージェントの展開ができます。なお本機能はEPに含めることができます。

#### Apache HTTPプロキシ

Apache HTTPプロキシはクライアントに検出エンジンなどのアップデート配布に利用するプロキシです。Apache HTTPプロキシを利用すると検出エンジンやアクティベーションなど、ESETの通信をキャッシュすることで、ネットワーク通信トラフィックを軽減することができます。



※本機能は、「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」および「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」ではご使用いただけません。

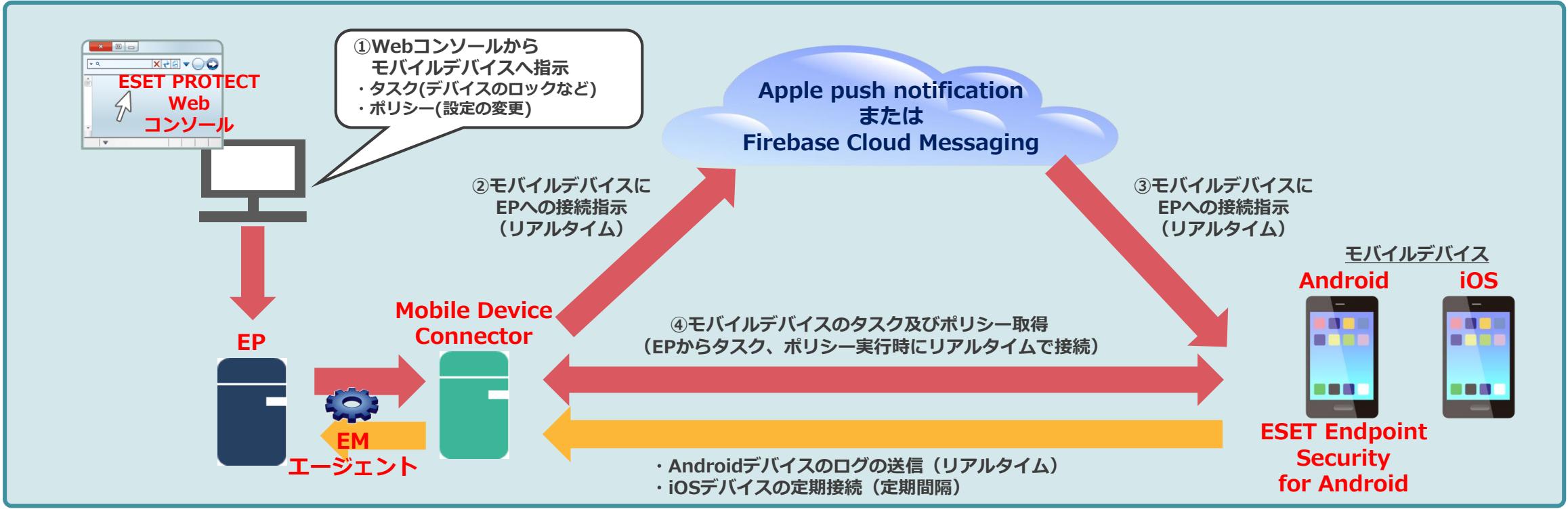
### 3. ESET PROTECTの構成



以下のコンポーネントは任意で構成します。

#### Mobile Device Connector

EPでAndroid端末やiOSのモバイルデバイスを管理するために必要なコンポーネントとなります。  
モバイルデバイスの登録および、モバイルデバイスとの通信を行う際に使用します。なお本機能はEPに含めることができます。



※本機能は「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」ではご使用いただけません。

### 3. ESET PROTECTの構成 (動作要件: サポートOS)



インストール可能なサポートOSは以下の通りです。Windows版またはLinux版の以下OSでご利用いただくことが可能です。

#### EPのサポートOS

プログラム	オペレーティングシステム名
EP V8 (Windows版)	Windows Server 2012 Standard (64bit)
	Windows Server 2012 R2 Standard (64bit)
	Windows Server 2016 Standard (64bit) / Datacenter (64bit)
	Windows Server 2019 Standard (64bit) / Datacenter (64bit)
EP V8 (Linux版)	Red Hat Enterprise Linux 7 (64bit)
	CentOS 7 (64bit)
	Suse Linux Enterprise Server 11 (64bit)
	Suse Linux Enterprise Server 12 (64bit)
	Suse Linux Enterprise Server 15 (64bit)

### 3. ESET PROTECTの構成

#### (動作要件：利用可能なデータベース)



利用可能なデータベースは以下の通りです。Microsoft SQL Serverは、2012、2014、2016、2017、2019の利用が可能です。エディションの指定はございません。以下には主要なエディションを記載しています。

##### 利用可能なデータベース

プログラム	利用可能なデータベース	データベースの最大サイズ
EP V8 (Windows版)	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition	制限なし
	Microsoft SQL Server 2012 Express Edition	10GBまで
	Microsoft SQL Server 2014 Standard Edition	制限なし
	Microsoft SQL Server 2014 Express Edition (既定) ※	10GBまで
	Microsoft SQL Server 2016 Standard Edition	制限なし
	Microsoft SQL Server 2016 Express Edition	10GBまで
	Microsoft SQL Server 2017 Standard Edition	制限なし
	Microsoft SQL Server 2017 Express Edition	10GBまで
	Microsoft SQL Server 2019 Standard Edition	制限なし
	Microsoft SQL Server 2019 Express Edition (既定) ※	10GBまで
EP V8 (Linux版)	MySQL 5.6、5.7、8.0	制限なし



## 4. Webコンソールのご紹介

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 4. ログイン画面

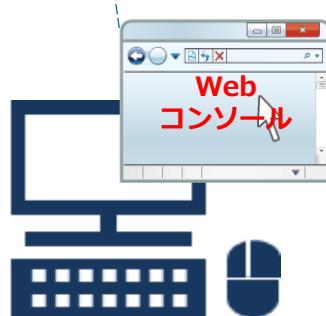


EPのWebコンソールへは、Webブラウザを使用してログインします。Webベースのインターフェイスのため、EPに接続可能なデバイスのブラウザからいつでもログインできます。

### ESET PROTECT Webコンソール サポート対象ブラウザ

サポート対象ブラウザー
Microsoft Edge
Mozilla Firefox
Google Chrome
Safari
Opera

※最新バージョンでご利用をお勧めします。



### 【マルチ言語対応】

EPの表示言語を選択することができます。  
設定やログの中身を選択した言語で表示させることができます。

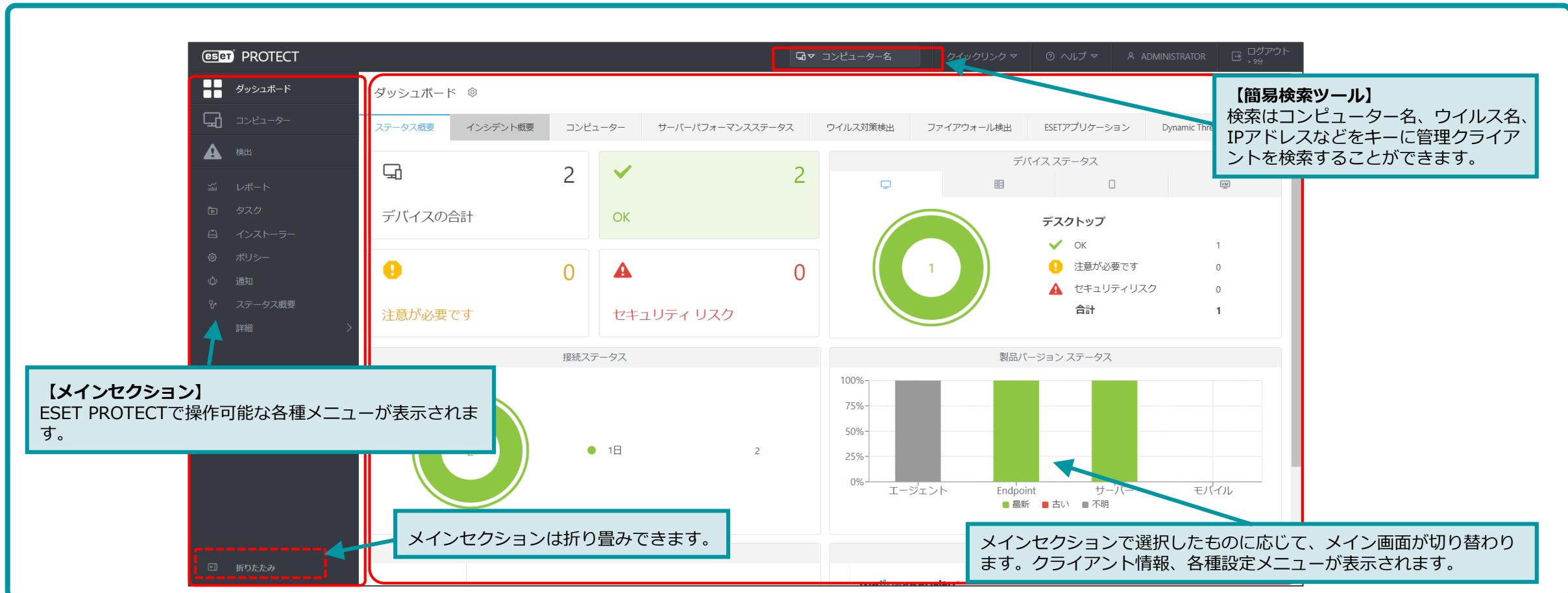
※ただし日本語で入力した設定やコメントは、英語などを選択してログインしても日本語のまま表示されます。

### ESET PROTECT Webコンソール ログイン画面



# 4. Webコンソールの画面構成

Webコンソールにログインすると以下の画面が表示されます。Webコンソールは3つのセクションより構成されており、画面左のメインセクションより、各種メニューを選択することで、レポートの閲覧や管理を行うための設定ができます。



【メインセクション】  
ESET PROTECTで操作可能な各種メニューが表示されます。

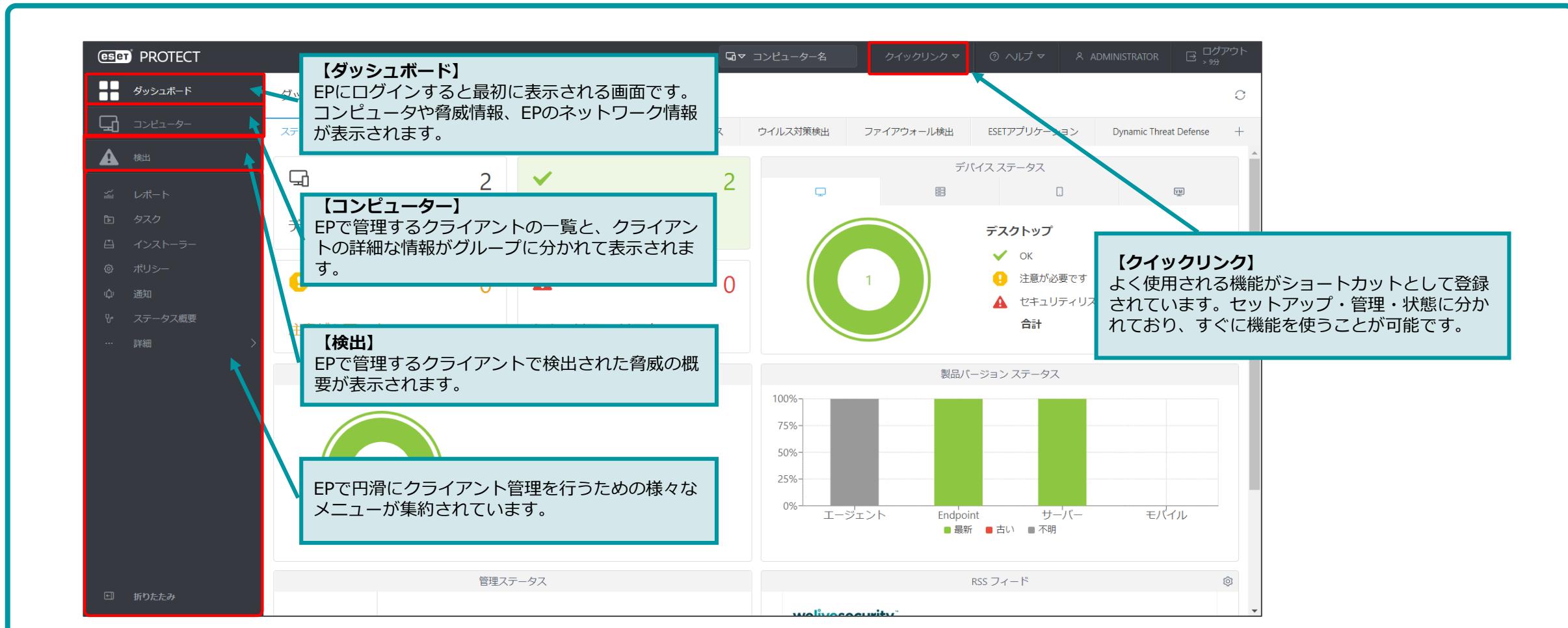
メインセクションは折り畳みできます。

【簡易検索ツール】  
検索はコンピューター名、ウイルス名、IPアドレスなどをキーに管理クライアントを検索することができます。

メインセクションで選択したものに応じて、メイン画面が切り替わります。クライアント情報、各種設定メニューが表示されます。

# 4. Webコンソールの画面構成(メインセクション)

WebコンソールのメインセクションではEPの各メニューを選択することができます。各メニューの詳細については、各機能のご紹介をご確認ください。



The screenshot shows the ESET PROTECT Web Console interface. The left sidebar is highlighted with a red box, showing items like 'ダッシュボード', 'コンピューター', '検出', 'レポート', 'タスク', 'インストラー', 'ポリシー', '通知', and 'ステータス概要'. A callout box for '【ダッシュボード】' states: 'EPにログインすると最初に表示される画面です。コンピュータや脅威情報、EPのネットワーク情報が表示されます。' The top navigation bar is also highlighted with a red box, showing 'コンピューター名', 'クイックリンク', 'ヘルプ', 'ADMINISTRATOR', and 'ログアウト'. A callout box for '【クイックリンク】' states: 'よく使用される機能がショートカットとして登録されています。セットアップ・管理・状態に分かれており、すぐに機能を使うことができます。' The main content area displays various dashboards and charts. A callout box for '【コンピューター】' states: 'EPで管理するクライアントの一覧と、クライアントの詳細な情報がグループに分かれて表示されます。' Another callout box for '【検出】' states: 'EPで管理するクライアントで検出された脅威の概要が表示されます。' At the bottom, a callout box for '【EPで円滑にクライアント管理を行うための様々なメニューが集約されています。】' states: 'EPで円滑にクライアント管理を行うための様々なメニューが集約されています。' A legend for the status icons in the 'デバイスステータス' section is provided: 'デスクトップ' (OK: green checkmark, 注意が必要です: yellow exclamation, セキュリティリスク: red warning, 合計: grey bar).

## 4. Webコンソールの画面構成(メインセクション)



メインセクションの後半にはEPの各メニューを選択することができます。  
主にクライアント管理機能やログ監視機能が集約されてます。詳細は各機能のご紹介をご確認ください。

eset PROTECT

ダッシュボード

コンピューター

検出

レポート

タスク

インストーラー

ポリシー

通知

ステータス概要

... 詳細 >

【レポート】  
クライアントの状態や検出情報をレポートとして作成することができます。

【通知】  
ウイルス検出などを管理者に通知することができます。

【タスク】  
EPを利用して、クライアントのモジュールのアップデートやオンデマンド検査などをリモートで実施できます。

【ステータス概要】  
EPに関するステータス情報を表示します。各セクションのステータスを色別で表示します。

【インストーラー】  
EMエージェントを展開するためのインストーラーパッケージを作成できます。

【詳細】  
EPに関するさらに詳細なメニューが開きます。

注意が必要です

【ポリシー】  
クライアントの設定変更や設定の制御に利用します。

# 4. Webコンソールの画面構成(メインセクション)



「詳細」を選択するとサブメニューが表示されます。

クライアント管理をおこなうための、さらに詳細な各種設定がございます。

展開すると、サブメニューが表示されます。

**【送信されたファイル】**  
別製品「ESET Dynamic Threat Defense」に送信されたファイルの情報の解析結果を確認することができます。  
※ESET Dynamic Threat Defenseを利用するためには、別途ライセンスを購入・登録する必要があります。

**【除外】**  
クライアントで検出を除外するリストを作成できます。

**【隔離】**  
クライアントで隔離されたファイルの一覧が表示されます。

**【コンピュータユーザー】**  
iOSデバイスの管理に利用します。ユーザーとデバイスの結びつけを行います。

**【動的グループテンプレート】**  
クライアントのグループ化に利用します。「動的グループ」では、グループに設定した条件に従って、リアルタイムに自動的にグループに分類できます。

**【ライセンス管理】**  
EPで管理しているライセンスが登録されます。オフライン環境用のライセンスもこちらで管理できます。

**【アクセス権】**  
EPのWebコンソールログインユーザーの作成と権限の作成ができます。

**【証明書】**  
EPの各コンポーネントがEPと通信するために必要なピア証明書の作成や認証局の作成ができます。

**【サーバー】**  
EPサーバーのアップデート間隔や、EPサーバー本体の設定ができます。

**【アクティビティ監査】**  
ログインユーザーがおこなった操作内容を確認します。



## 5. ログ監視機能のご紹介

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 5. ダッシュボード

EPにログインするとはじめに表示されるのがダッシュボードです。「概要」や「インシデント概要」では、簡易的なクライアントの情報や脅威検出情報など管理しているクライアント全台の状態を確認できます。

ダッシュボード - ステータス概要（既定テンプレート）

デバイスごとのステータスを表示します。  
上部タブを切り替えるとその他デバイスのステータス統計情報  
も円グラフで確認できます。

デバイスステータス

ダッシュボード - インシデント概要（既定テンプレート）

正常な端末や注意が必要な端末、問題のある端末を色別でカウントします。

重大な脅威を検出した端末数もすぐさま確認できます。

# 5. ダッシュボード



その他のダッシュボード画面はクライアントから収集した情報や、ESET PROTECTのパフォーマンス情報などをレポート化して閲覧できます。表示するレポートは、種類、大きさ、数を自由に変更することができます。

ダッシュボード - コンピューター (既定テンプレート)

The screenshot shows the ESET PROTECT dashboard for a computer. The top navigation bar includes tabs for 'コンピューター名' (Computer Name), 'クイックリンク' (Quick Links), and 'ヘルプ' (Help). The main content area is divided into several sections:

- コンピューターステータス概要:** A donut chart showing 2 'OK' and 1 'セキュリティ通知' (Security Alert).
- 上位のコンピューターの問題:** A donut chart showing 1 'Windows更新が利用可能' (Windows Update available).
- 前回のコンピューター接続:** A donut chart showing 2 '1日' (1 day).
- 前回の更新:** A donut chart showing 1 '1日' (1 day).
- OS:** A donut chart showing 1 'Micro...' and 1 'Micro...'.
- 管理対象外のコンピューターの...**: A donut chart showing 1 '管理対象外' (Not Managed) and 1 '既知' (Known).
- 問題のあるコンピューター:** A table showing a single entry: 'コンピューター名' (Computer Name): 'desktop-dnmj3ha', '発生時刻' (Occurrence Time): '2020-12-18 14:13...', '重大度' (Severity): '警告' (Warning), 'ソース' (Source): 'セキュリティ製品' (Security Product), and '機能' (Function): 'その他' (Other).
- ウィルス対策検出:** A list of 20 recent virus detection entries, each with a timestamp and a small icon.

A red box highlights the main content area, and a blue arrow points from the text 'ダッシュボード上部のタブをクリックすることで、表示する画面を切り替えることができます。' (You can switch the displayed screen by clicking the tabs at the top of the dashboard) to the 'コンピューター' tab.

A red box highlights the 'ウィルス対策検出' section, and a blue arrow points from the text 'ダッシュボードに表示するレポートは、追加することもできます。また、位置や大きさなどをカスタマイズすることができます。' (You can also add reports to the dashboard. You can also customize their position and size) to the section.

@Canon Marketing Japan Inc.

18

## 5. ダッシュボード(詳細情報)

ダッシュボードに表示されているレポートから、詳細な情報を確認することができます。レポート上の確認したい箇所をクリックし「詳細情報」を選択することで、「ドリルダウン」して、さらに詳細な情報を確認することができます。

コンピューターステータス概要

①グラフの中から確認したい箇所をクリックし、続いて、「詳細情報」を選択します。

OK

セキュリティ通知

表示

詳細情報

「警告」のみ

「セキュリティ通知」のみ

作成済み 0分前

【ダッシュボード機能とドリルダウンについて】

ダッシュボード機能はレポートよりサマリーを表示する以外に詳細にデータを調べることができます。

確認したい項目をクリックし「詳細情報」を選択することでドリルダウンして情報を確認することができます。

※通常、ドリルダウンは複数の階層で表示されます。

レポート: ドリルダウン - 詳細情報

サーバー名: WIN-PE6IEU68IFF.localdomain

生成日: 2020年12月18日 14:34:04 (UTC+09:00)

レコード数: 1

フィルター: フィルター数: 4

重大度: 発生時間: ステータス: コンピュータ名: 静的グループ名: アクタIPv4アドレス: アクタIPv6アドレス: IPv6サブネットワーク:

警告 2020年12月18日 14:13:08 セキュリティ通知 desktop-dm3ha LOST+FOUND 192.168.231.131 192.168.231.0 192.168.231.1

②一覧の中から参照したい箇所をクリックし、続いて「詳細を表示」を選択します。

③セキュリティ通知内容が表示されます。

ここをクリックすると、リストを表示します

アラート: 未解決の検出数: 0

前回の接続時間: 2020年12月18日 14:21:47

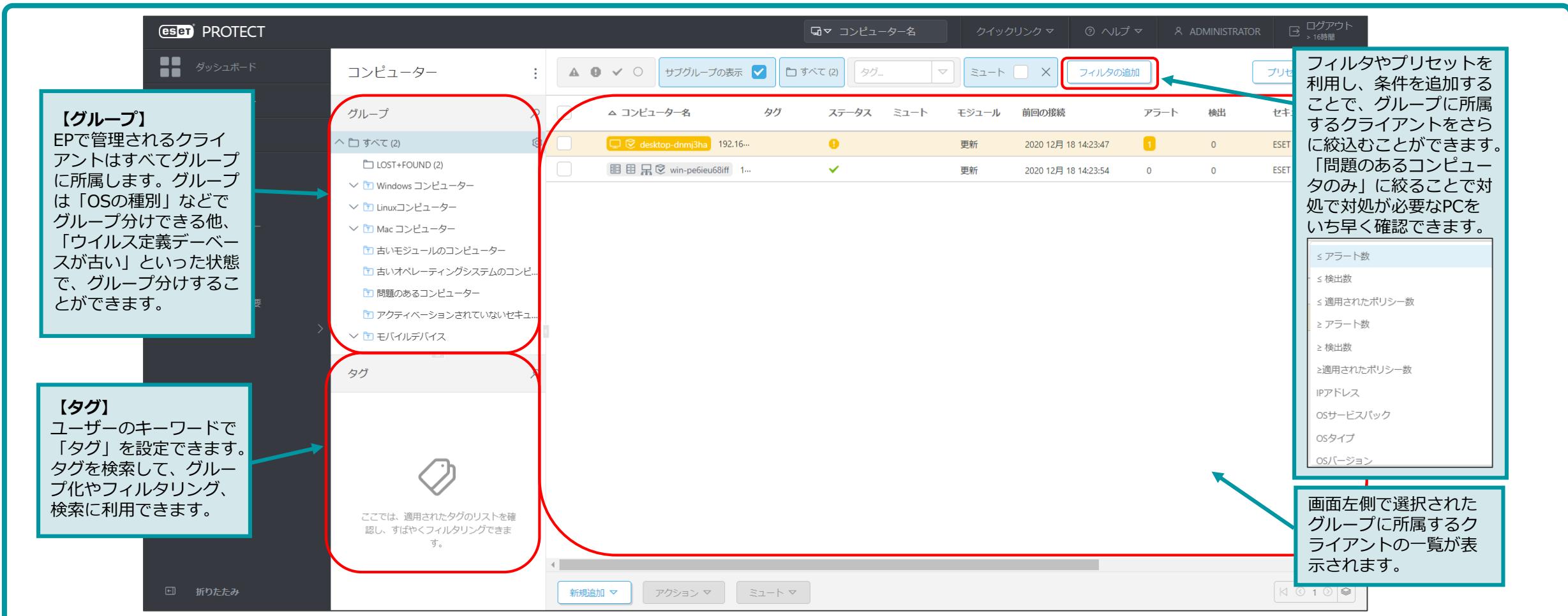
前回の検査時刻: 2020年12月18日 13:20:37

検出エンジン: 22501 (20201218)

更新: 更新

# 5. コンピューター

EPで管理しているクライアントの情報を確認することができます。ウイルスの検出状況以外にもインストールが行われているOS情報やアプリケーションの名前、バージョンなども確認できます。



【グループ】  
EPで管理されるクライアントはすべてグループに所属します。グループは「OSの種別」などでグループ分けできる他、「ウイルス定義データベースが古い」といった状態で、グループ分けすることができます。

【タグ】  
ユーザーのキーワードで「タグ」を設定できます。タグを検索して、グループ化やフィルタリング、検索に利用できます。

コンピューター

グループ

タグ

コンピューター名 タグ ステータス ミュート モジュール 前回の接続 アラート 検出

コンピューター名	タグ	ステータス	ミュート	モジュール	前回の接続	アラート	検出
desktop-dnmj3ha	!	更新	2020/12/18 14:23:47	1	0	ESET	
win-pe6ieu68iff	✓	更新	2020/12/18 14:23:54	0	0	ESET	

フィルタの追加

アラート数 検出数 適用されたポリシー数 アラート数 検出数 適用されたポリシー数 IPアドレス OSサービスパック OSタイプ OSバージョン

画面左側で選択されたグループに所属するクライアントの一覧が表示されます。

# 5. コンピューター(詳細情報)



コンピューターの詳細情報では、ウイルス対策製品の情報以外にもデバイスの情報や導入されているアプリケーションの情報、ハードウェア情報の閲覧ができます。

コンピューター詳細画面 - 概要

コンピューター詳細画面 - 概要

【詳細】 - 【ハードウェア】  
コンピューターの情報やESETの情報について、概要をまとめています。ハードウェアでは、デバイスのRAM、ストレージ、プロセッサーなどハードウェアの詳細情報を確認できます。

【インストール済みアプリケーション】  
一覧を表示させることができます。タスク機能を使用して、アプリケーションのアンインストールができます。

## 【設定】

クライアントの設定を閲覧することができます。適用されているポリシーを確認することができます。

コンピューター詳細画面 - 設定

コンピューター詳細画面 - 設定

【設定】  
クライアントの設定を閲覧することができます。適用されているポリシーを確認することができます。

コンピューター詳細画面 - インストール済みアプリケーション

コンピューター詳細画面 - インストール済みアプリケーション

名前	ベンダー	バージョン	サイズ[MB]	エージェントによる
ESET Management Ag...	ESET, spol. s r.o.	8.0.1239.0	167	はい
ESET Endpoint Securit...	ESET, spol. s r.o.	8.0.2028.1	222	はい
Microsoft Update Heal...	Microsoft Corporation	2.70.0.0	1	はい
VMware Tools	VMware, Inc.	11.0.0.14549434	90	はい
Microsoft Visual C++ ...	Microsoft Corporation	14.20.27508.1	23	いいえ
Microsoft Visual C++ ...	Microsoft Corporation	14.20.27508.1	20	いいえ

# 5. 検出

コンピューターで検出された脅威の概要を確認できます。検出された脅威は、「未解決の脅威」と「解決済みの脅威」に分類され、すべてのウイルスログやファイアウォール、HIPSログの概要が表示されます。

【グループ】  
ESET PROTECTで管理されるクライアントはすべてグループに所属します。グループは「OSの種別」などでグループ分けできる他、「ウイルス定義データベースが古い」といった状態で、グループ分けすることができます。

適用されたタグのリストを確認しやすくフィルタリングできます。

画面左側で選択されたグループに所属するクライアントで検出した脅威一覧が表示されます。

フィルタやプリセットを利用して、条件を追加することで、グループに所属するクライアントをさらに絞込むことができます。「問題のあるコンピュータのみ」に絞ることで対処が必要なPCをいち早く確認できます。

フィルタ	オプション
≤ 発生数	≤ 発生数
≥ 発生数	IPアドレス
	アクション
	アクション詳細
	あて先アドレス
	オブジェクトの種類
	コンピューターの説明
	コンピューター名
	スキヤナ

## 5. 検出(脅威の詳細)



脅威の詳細では、ウイルス名以外にも、脅威が検出された方法（スキャナ）やプロセス名などを閲覧することができます。



## 6. クライアント管理機能のご紹介

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

# 6. レポート



クライアントから収集した情報や管理サーバーの情報をもとにレポートを作成することができます。テンプレートとして既に定義されているレポートは約120種類あり、テンプレートをもとに独自にレポートを作成することもできます。

The screenshot shows the ESET PROTECT interface. On the left, the navigation menu includes 'レポート' (Report) under the '検出' (Detection) section. The main content area displays a categorized list of reports under 'ウイルス対策検出' (Virus Protection Scan). A red box highlights the 'ウイルス対策検出' section, and a red arrow points to the '新しいレポートテンプレート' (New Report Template) button at the bottom. A callout box on the right explains that reports can be created in CSV, PS, or PDF format and can be scheduled for automatic generation.

カテゴリーごとに分類されています。

テンプレート アクセスグループ 選択 タグ 入力すると検索を開始...

Dynamic Threat Defense  
Enterprise Inspector  
**ウイルス対策検出**  
コンピューター  
サーバーパフォーマンス  
ネットワーク  
ハードウェアインベントリ  
ファイアウォール検出  
完全ディスク暗号化  
監査とライセンス管理  
自動  
隔離  
電子メールサーバー

**ウイルス対策検出**

新しいレポートテンプレート  
IPv4サブネットのアクティブな検出  
IPv6サブネットのアクティブな検出  
アクティブな検出がある上位のコンピューター  
エージェントレス仮想マシンの前回の検査  
スキャナー別過去30日のウイルス対策の検出  
新しいレポートテンプレート  
過去30日間で未解決の脅威がある検査  
過去30日間の検査  
過去30日間の検出イベントの日別サマリー  
過去7日間に検出イベントがあった上位のエージェントレス仮想マシン  
過去7日間に検出イベントがあった上位のコンピューター  
過去30日間にプロックされたファイル  
過去30日間に実行されたアクティブなウイルス対策検出がある検査  
過去7日間に検出イベントがあった上位のモバイルデバイス  
過去7日間に最も多かったウイルス対策検出のモバイルデバイス  
過去7日間に検出イベントがあった上位のユーザー  
過去7日間に最も多かった検出のユーザー  
過去7日間のIPv4サブネット別検出イベント  
過去7日間のIPv6サブネット別検出イベント  
過去7日間のアクティブな高重要度検出イベント  
過去7日間に最も多かったすべてのウイルス対策検出

【レポート】  
レポートはCSVやPS、PDF形式でブラウザから直接ダウンロードすることができます。また、レポートを定期的に自動作成することもできます。

用途に応じて柔軟に作成することができます。

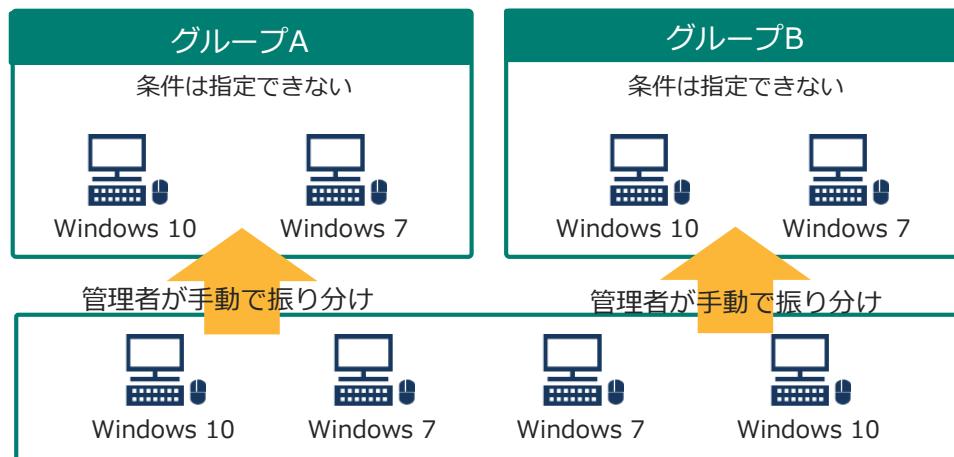
※「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」および「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」では、レポートの自動作成および電子メールでの送信はできませんが、ブラウザよりダウンロードが可能です。

# 6. グループ

ESET PROTECTで管理しているクライアントをグループ分けすることができます。「静的グループ」と「動的グループ」の2種類のグループを作成することができます。

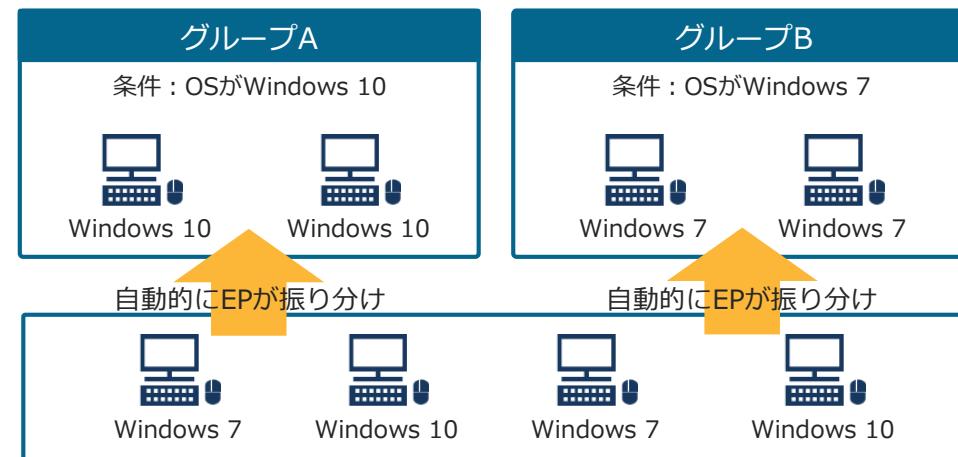
## 静的グループ

静的グループは、管理者が手動でグループ化をおこないます。  
グループに追加したクライアントが自動的に変更されることはありません。



## 動的グループ

動的グループは、グループに指定した条件を満たすクライアントが自動的に振り分けされます。条件は、OSやIPアドレス、製品バージョンなどを設定することができます。



# 6. グループ

コンピュータより、「動的グループ」と「静的グループ」でグループ分けしたコンピューターの情報確認と、グループの設定ができます。

コンピューター

グループ

□ すべて (2)

- LOST+FOUND (2)
- ▽ Windows コンピューター
- ▽ Linux コンピューター
- ▽ Mac コンピューター
- 古いモジュールのコンピューター
- 古いオペレーティングシステムのコンピューター
- 損傷のあるコンピューター
- アクティベーションされていないセキュリティ
- モバイルデバイス

タグ

ここでは、適用されたタグのリストを確認し、すばやくフィルタリングできます。

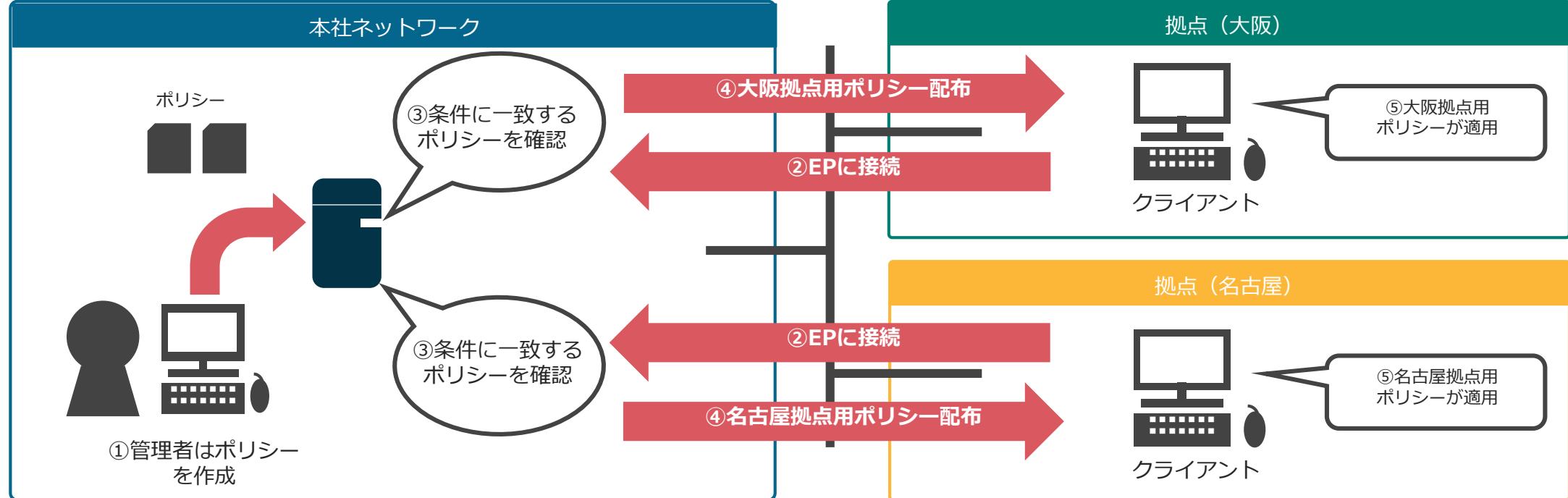
新規追加 アクション ミュート

動的グループテンプレート

名前	タグ
OS識別(MS Windows)	オペレーティングシステムはMicrosoft Windowsファミリーと示されています
OS識別(MS Windows)	オペレーティングシステムはMicrosoft Windows for Client / Workstationsファミリーと示されています
OS識別(MS Windows)	オペレーティングシステムはMicrosoft Windows for Client / Workstationsファミリーと示されています
OS識別(MS Windows)	オペレーティングシステムはMicrosoft Windows Serverファミリーと示されています
OS識別(MS Windows)	オペレーティングシステムはMicrosoft Windows Serverファミリーと識別されます
OS識別(MS Windows)	オペレーティングシステムはMicrosoft Windows for Client / Workstationsファミリーと示されています
OS識別(Linux)	オペレーティングシステムはLinuxファミリーと示されています
OS識別(Mac)	オペレーティングシステムはMac OSファミリーと示されています
OS識別(Google Android)	オペレーティングシステムはGoogle Androidファミリーと示されています
OS識別(Apple iOS)	オペレーティングシステムはApple iOSと示されています
オペレーティングシステム (Apple Business)	オペレーティングシステムはApple Businessと示されています
モバイルデバイスを検出	管理されたコンピューターはモバイルデバイスと認識されます
オペレーティングシステムはデバイス所有者モードでGoogle Androidファミリー	オペレーティングシステムはデバイス所有者モードでGoogle Androidファミリーと示されています
古いオペレーティングシステムを検出	オペレーティングシステムは、より最新の更新が使用可能ですがまだインストールされています
製品モジュールが最新ではありません	セキュリティ製品は、モジュールが最近アップデートされていないことを示します
コンピューターのアイドル状態を検出	エージェントは、コンピュータがアイドル状態にあることを示しています

## 6. ポリシー

ポリシーを利用して、クライアントのESET設定変更が可能です。ポリシーは、クライアントがEPに接続した際に適用されます。「グループ」に適用するとあらかじめ設定した条件に従って、任意の設定（ポリシー）を自動で適用することもできます。



# 6. ポリシー

ポリシーには予めテンプレートが用意されています。テンプレートをもとにして独自にポリシーを作成することができます。設定を行う画面はクライアント側で表示される画面と同じ画面となるため、簡単に設定を行うことができます。



設定したポリシーをグループまたはクライアントに割り当てるすることができます。

現在、ポリシーを適用中の端末を確認できます。

【ポリシー】

ポリシーには、デバイスコントロール、ファイアウォール、ログ、画面表示、ウイルス対策など様々なテンプレートが用意されています。設定内容は設定をクリックすると表示されます。テンプレートはビルトインポリシーに分類され、新しく作成するポリシーは、カスタムポリシーに保存されます。

# 6. タスク

タスク機能を使用すると、ウイルス検査や、検出エンジンのアップデートをリモートで実行することができます。製品別に分類されており、約40種類のタスクを用意しています。

EPから配布できるタスクは以下の通りです。

## ■ 主要なタスク

### ESETセキュリティ製品

- ・ **ESET製品の設定エクスポート**  
クライアントの設定をエクスポートします。
- ・ **オンデマンド検査**  
クライアントでコンピュータの検査を実行します。
- ・ **ソフトウェアインストール / ソフトウェアアンインストール**  
ESET製品のインストール/アンインストールを実行します。
- ・ **モジュールアップデート**  
クライアントの検出エンジンをアップデートします。
- ・ **製品のアクティベーション**  
クライアントのアクティベーションを実行します。
- ・ **コンピューターをネットワークから隔離する**  
エージェント等の通信以外を遮断しクライアントを隔離します。

### ESET PROTECT

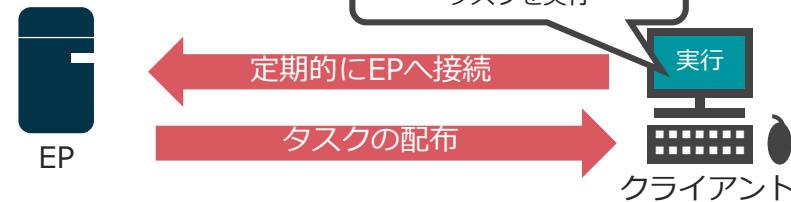
- ・ **ESET PROTECT コンポーネントのアップグレード**  
EPやEMエージェントのアップグレードを実行します。
- ・ **管理の停止**  
クライアントのEM エージェントをアンインストールします。

### OS

- ・ **オペレーティングシステムアップデート**  
クライアントのOSのアップデートを実行します。
- ・ **メッセージの表示**  
クライアントの画面上に任意の文字列を表示させます。

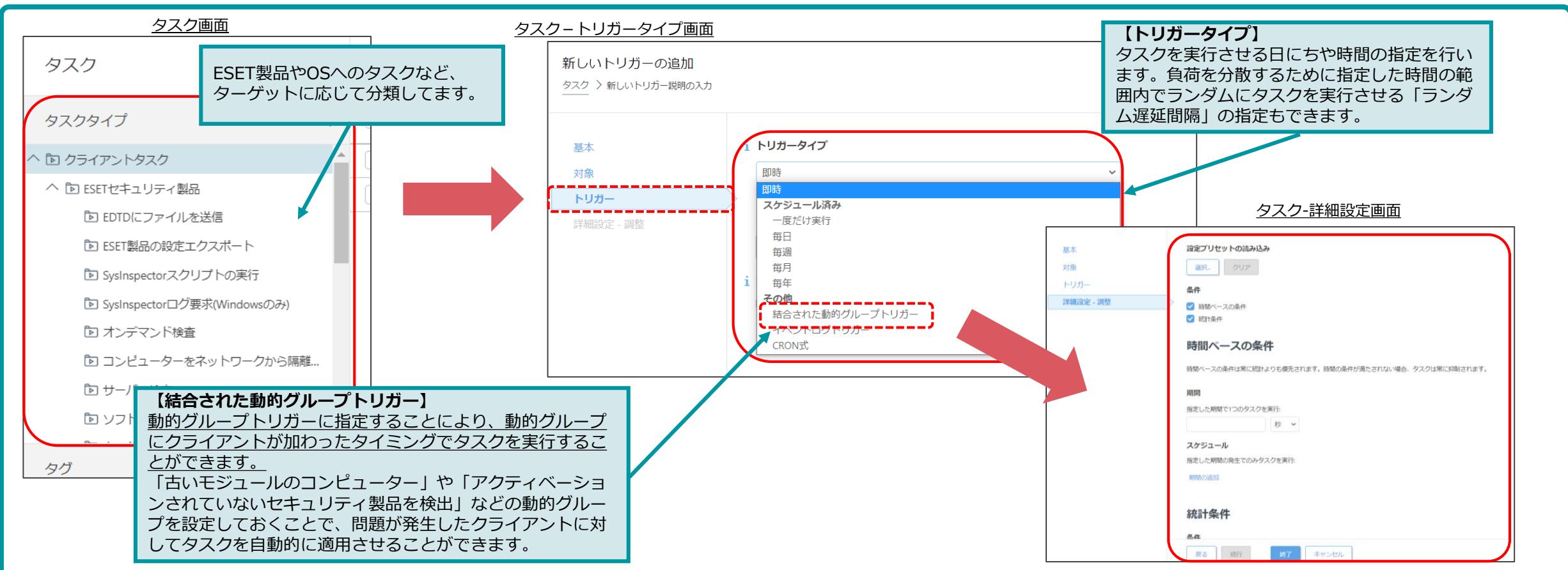
### モバイル

- ・ **アンチセフトアクション**  
AndroidデバイスやiOSデバイスの盗難や紛失時に、検索、ロック、警報、ワイプ、拡張初期設定リセットを実行します。



# 6. タスク

タスクでは、実行するターゲットを「コンピューター」単体で指定する以外に、「静的グループ」「動的グループ」を指定することで複数のコンピューターに対して指定できます。タスクを実行するタイミングはトリガーで設定します。



**タスク画面**

タスク  
タスクタイプ  
クライアントタスク  
ESETセキュリティ製品  
EDTDにファイルを送信  
ESET製品の設定エクスポート  
SysInspectorスクリプトの実行  
SysInspectorログ要求(Windowsのみ)  
オンデマンド検査  
コンピューターをネットワークから隔離...  
サーバー  
ソフト  
タグ

ESET製品やOSへのタスクなど、ターゲットに応じて分類しています。

**【結合された動的グループトリガー】**  
動的グループトリガーに指定することにより、動的グループにクライアントが加わったタイミングでタスクを実行することができます。  
「古いモジュールのコンピューター」や「アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出」などの動的グループを設定しておくことで、問題が発生したクライアントに対してタスクを自動的に適用することができます。

**タスク-トリガータイプ画面**

新しいトリガーの追加  
タスク > 新しいトリガー説明の入力

トリガータイプ  
即時  
スケジュール済み  
一度だけ実行  
毎日  
毎週  
毎月  
毎年  
その他  
結合された動的グループトリガー  
イベントドリブン  
CRON式

**【トリガータイプ】**  
タスクを実行させる日にちや時間の指定を行います。負荷を分散するために指定した時間の範囲内でランダムにタスクを実行させる「ランダム遅延間隔」の指定もできます。

**タスク-詳細設定画面**

設定プリセットの読み込み  
選択 クリア  
条件  
時間ベースの条件  
時間ベースの条件は常に統計よりも優先されます。時間の条件が満たされない場合、タスクは常に抑制されます。  
期間  
指定した期間で1つのタスクを実行:  
秒  
スケジュール  
指定した期間の発生でのみタスクを実行:  
期間の追加  
統計条件  
条件  
戻る 続行 次へ キャンセル

# 6. インストーラー



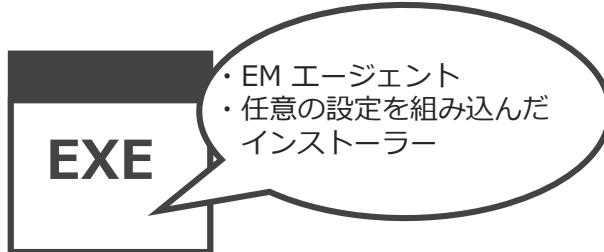
クライアントにEM エージェントとESET製品を展開するためのインストーラーパッケージを作成することができます。インストーラー機能では、以下3種類のインストーラーを作成することができます。

## インストーラー

### オールインワンインストーラー

EM エージェントとESET製品を含むインストーラーパッケージ、またはEMエージェントのインストーラーパッケージ。  
(Windows製品のみ)

ESET製品の設定を組み込んだり、所属するグループを事前に指定できます。



### エージェントライブインストーラー

EM エージェントにEPへ接続するための設定を組み込んだスクリプトファイル。

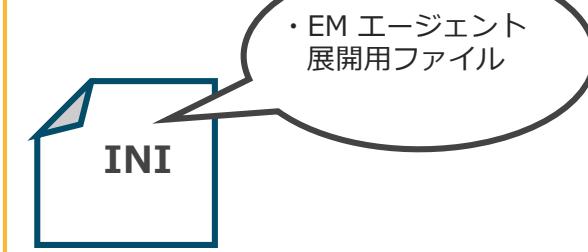
ESET製品のインストールは、別途行う必要があります。



### GPOまたはSCCMスクリプト

GPOまたはSCCMを使用したEM エージェント展開用スクリプトファイル。

ESET製品のインストールは、別途行う必要があります。



# 6. インストーラー



一度作成したインストーラーは、一覧で表示されます。作成時にポリシーをEM エージェントやESET製品に組み込むことができます。また、所属する「静的グループ」を事前に指定することができ、展開時のグループ管理がおこないやすくなっています。

**インストーラー画面**

作成した各インストーラーが一覧で表示されます。

【設定テンプレート】  
EM エージェントやESET製品に対して、あらかじめ作成したポリシー適用することで、設定を組み込んだインストーラーを作成することができます。

作成するインストーラーの種類を選択します。

【親グループ(任意)】  
所属するグループを静的グループの指定により事前に選択できます。インストール後のグループ分け作業負担を軽減することができます。

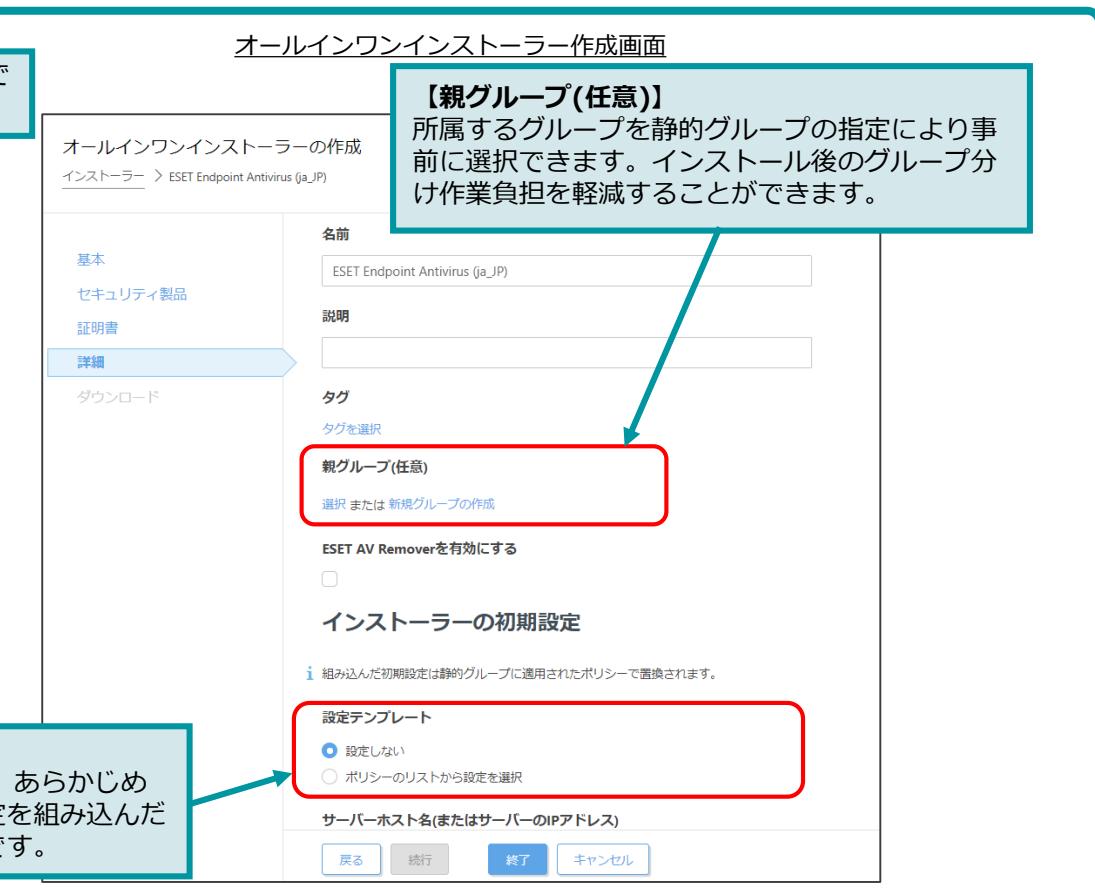


**オールインワンインストーラー作成画面**

オールインワンインストーラーの作成

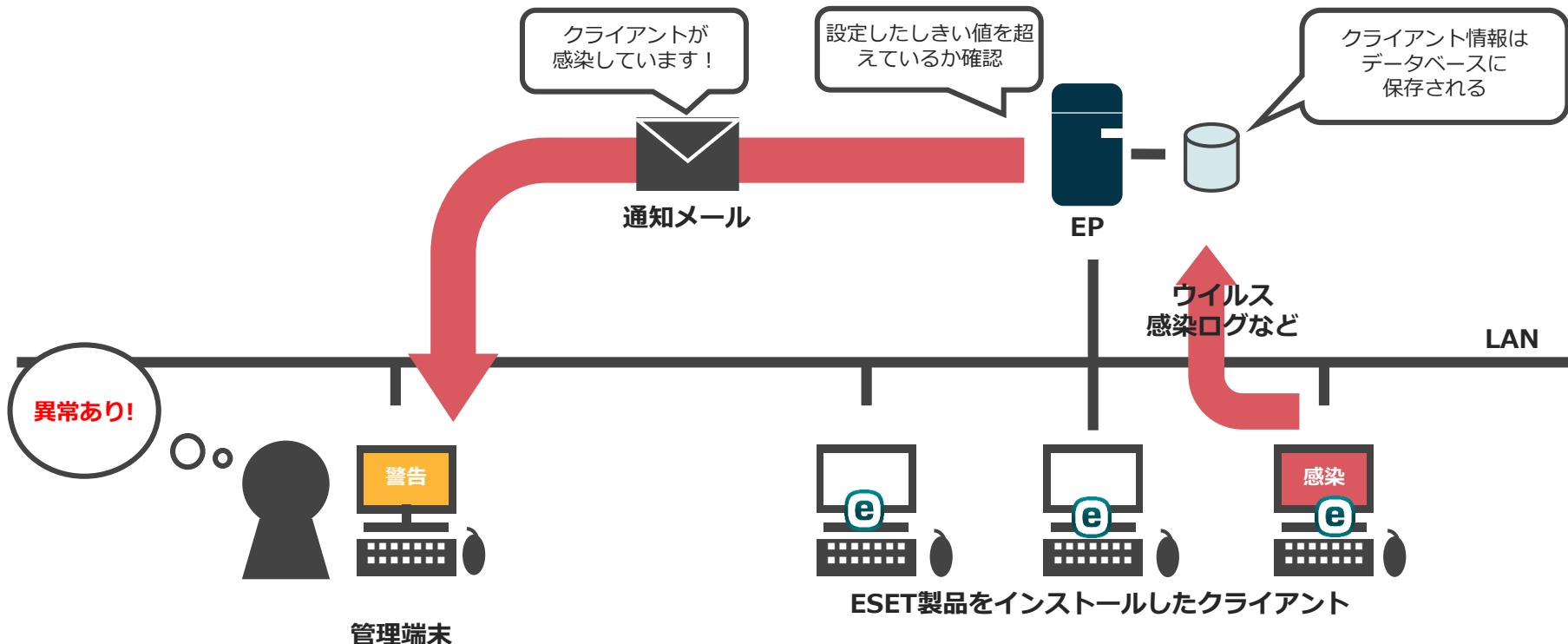
【親グループ(任意)】  
所属するグループを静的グループの指定により事前に選択できます。インストール後のグループ分け作業負担を軽減することができます。

【設定テンプレート】  
EM エージェントやESET製品に対して、あらかじめ作成したポリシー適用することで、設定を組み込んだインストーラーを作成することができます。



# 6. 通知

通知メニューで設定したルールのしきい値を超えた場合、EPから管理者に通知をおこなうことができます。これにより、ウイルスを検出したクライアントが発見された場合やクライアントで問題があった場合、管理者に通知することができます。



※本機能は、「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」ではご使用いただけません。

# 6. 通知

通知は予めテンプレートが用意されています。通知はSNMPトラップ、電子メール、Syslogへの送信でおこないます。

**通知画面**

【通知ルール】  
マルウェアの発生状況など、既定で28種類のルールが用意されています。

【配布】  
通知先を設定します。複数の管理者に通知する場合は、CSVのインポートでアドレスを登録することができます。

**通知-設定画面**

【カテゴリ】  
ウィルス検出時やコンピュータの検査実行状況などクライアントで発生したイベントごとに通知ができます。

**通知-配布画面**

【配布】  
配布 ②  
□ SNMPトラップの送信  
☑ 電子メールを送信  
□ Syslogの送信

受信者  
電子メールアドレス  
eset@example.com  
名前  
ユーザーの作成...  
すべて削除  
[+] 詳細 ▾

メッセージプレビュー



## 7. サーバー運用管理機能のご紹介

**Canon**

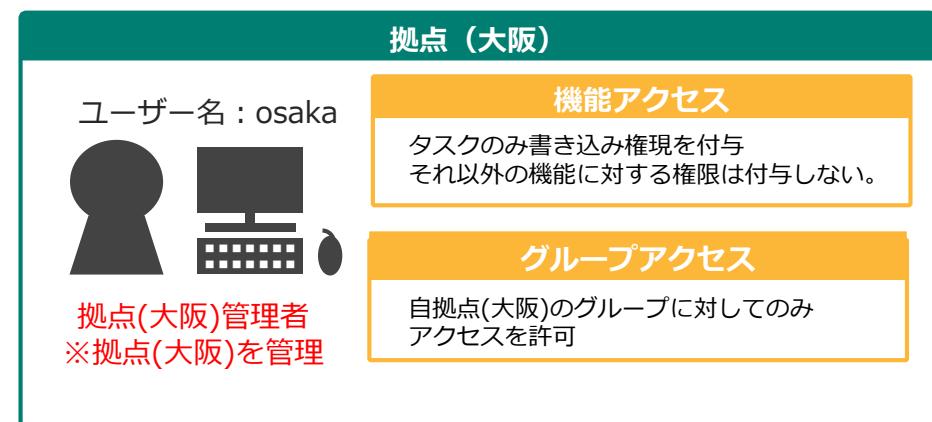
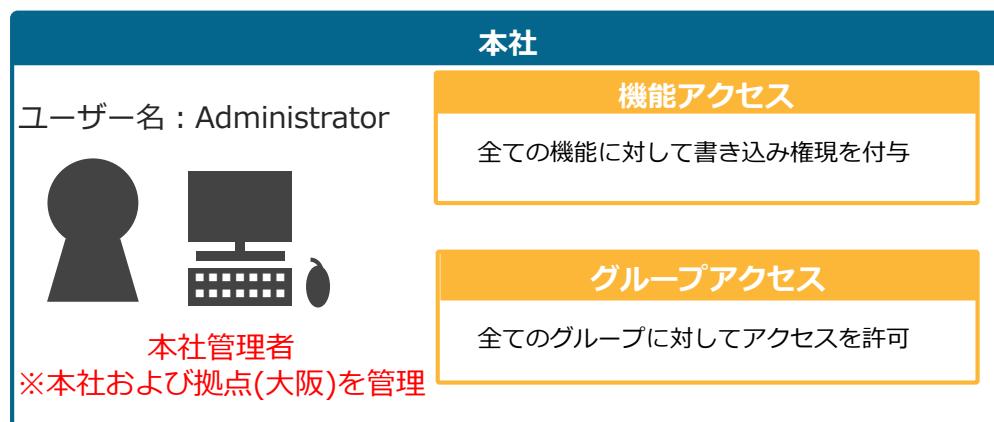
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

# 7. ユーザー管理

EPのアクセス権をもつユーザーを複数作成できます。EPではユーザーに対して設定可能なアクセス権が2種類あります。

- ① 機能アクセス : EPの各機能に対して読み取り/使用/書き込みの指定ができます
- ② グループアクセス : 静的グループの指定により対象の指定ができます

2種類のアクセス権を組み合わせることで、特定のグループに所属するクライアントに対して管理を行うといった柔軟なアクセス設定ができます。



- ・読み取り : 設定などの閲覧は可能ですが変更は行えません。
- ・使用 : 設定などを使用することは可能ですが修正または削除は行えません。
- ・書き込み : 設定の変更やタスクの実行を行うことができます。

※本機能は、「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」および「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」ではご使用いただけません。

# 7. ユーザー管理

各ユーザーには、所属する静的グループと権限設定を割り当てます。アクセス権には既定で全ての機能が実行できる「管理者権限設定」に加えて、設定の表示は行えるが変更は行えない「レビュー権限設定」などがあります。

**ユーザー画面**

**【権限設定】**  
ユーザーに割り当てる権限を設定できます。

**【パスワード】**  
定期的にパスワード変更を促す期限を設定できます。

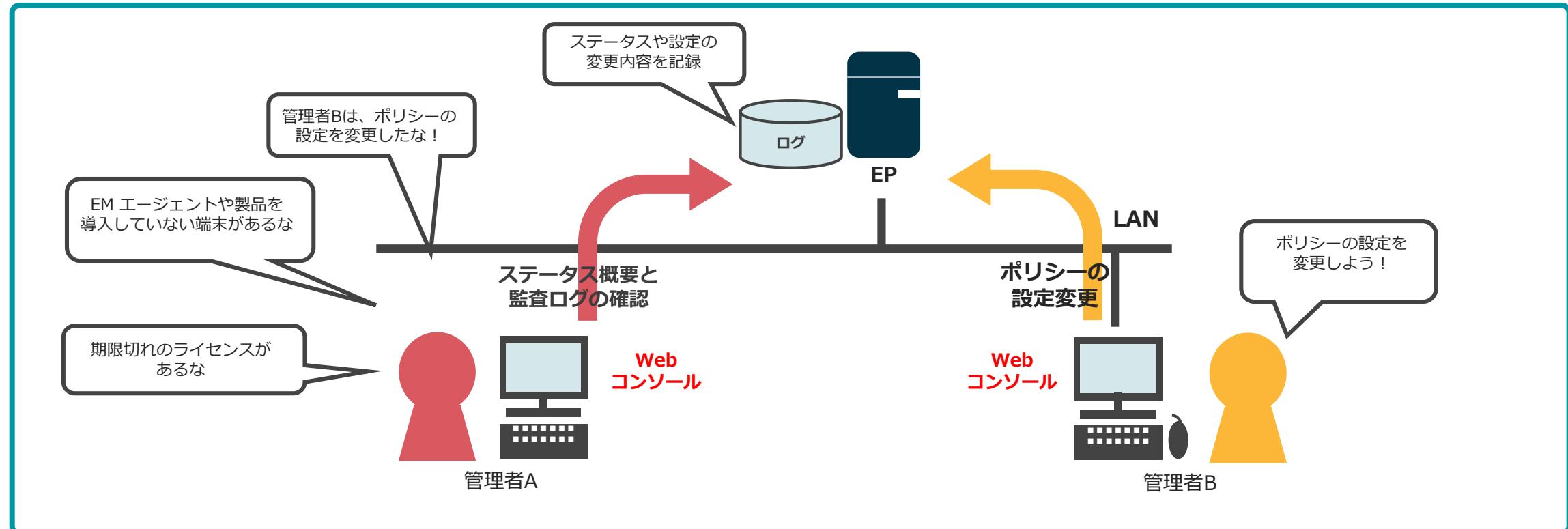
**権限設定画面**

**【機能アクセス】**  
EPの各機能に対して下記の権限の設定が可能です。

- ・読み取り : 設定などの閲覧のみ可能です。
- ・使用 : 設定などを使用することは可能ですが修正または削除は行えません。
- ・書き込み : 設定の変更やタスクの実行を行うことができます。

## 7. 監視・監査

「ステータス概要」では、EPの統計的な使用情報やステータスを表示します。また「監査レポート」を利用すると、ログインユーザーがおこなった操作内容を記録します。これらにより、EP上の問題をただちに発見でき、管理者は「いつ」「だれが」「なにを」「どのように」設定を変更したか確認することができます。



※本機能は、「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」および「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」ではご使用いただけません。

# 7. 監視・監査

ステータス概要では、EPに関する詳細なステータスを確認できます。  
各セクションタイルは、項目の状態に応じて色別でステータスを表示します。

ステータス概要画面



左側メニューの「ステータス概要」が選択されている。

色の意味は以下の通りです。

- 緑 (✓ OK) - 問題ありません。
- 黄色 (⚠ 警告) - 1つ以上の警告があります。
- 赤 (⚠ エラー) - 1つ以上のエラーがあります。
- 灰色 (🚫 コンテンツは利用できません) - アクセス権不足のため表示できません。
- 青 ( ⓘ 情報) - ハードウェアに関する質問があります。

各セクションのステータス表示例：

- ユーザー**：緑 (✓ OK) - ユーザーを作成し、さまざまなレベルのリモート管理アクセス権を許可するための権限を設定します。インストール中に作成されたAdministratorアカウントを使用することは推奨されません。
- 証明書**：緑 (✓ OK) - 証明書は、ESET PROTECT コンポーネント間の暗号化された通信をデジタル署名するために使用されます。
- ライセンス**：緑 (✓ OK) - ESETセキュリティ製品をアクティベーションおよび使用するためには、ライセンスが必要です。
- コンピューター**：緑 (✓ OK) - 使用可能な展開方法のいずれかを使用して、コンピューターを追加し、リモートで管理します。
- モバイルデバイス**：緑 (✓ OK) - 電子メール、リンク、またはQRコードを使用してモバイルデバイスを追加します。モバイルデバイスを登録するには、Mobile Device Connectorをインストールする必要があります。
- エージェント**：緑 (✓ OK) - ESET Management Agentは、コンピューターとESETセキュリティ製品のリモート管理に必要です。
- 製品**：青 ( ⓘ 情報) - ハードウェアに関する質問があります。
- 無効なオブジェクト**：緑 (✓ OK) - タスクと通知の実行は内部および外部パラメーター(コンピューター、グループ、リポジトリからのインストラーなど)によって異なります。オブジェクトにアクセスできない場合は、タスクと通知は動作しません。
- 外部サービス**：緑 (✓ OK) - ESET PROTECTはESET Repository、EPNS、SMTPサーバーなどの外部サービスに接続します。外部サービスは特定のタスクの実行をサポートします。

EPのステータスがセクションごとに色別で表示されます。

# 7. 監視・監査



監査ログはレポートまたはダッシュボードより閲覧することができます。

監査ログは、「発生時刻」「アクション」「アクションの詳細」「結果」「ユーザー名」などを確認することができます。

監査ログ画面

① 「Administrator」がタスクを作成。

② 「Administrator」がタスクを割り当てる。

発生	監査ドメイン	アクション	詳細	結果	ログイン
2020/12/18 14:54:53	保存されたインストーラー	削除	保存されたインストーラー「ESET...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:53:22	保存されたインストーラー	作成	保存されたインストーラー「ESET...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:52:51	保存されたインストーラー	作成	保存されたインストーラー「ESET...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:43:02	クライアントタスク	作成	タイプオンデマンド検査のクライ... タスク「クライアントタスク」	成功	Administrator
2020/12/18 14:32:30	シングルサインオントークン	シングルサインオントークンの... クライアントタスク「クライアントタス...」	ネイティブユーザー「Administrator...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:32:30	ネイティブユーザー	ログイン試行	ネイティブユーザー「Administrator...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:31:44	コンピューター	ポリシーの設定	ポリシー「アプリケーションレポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:27:35	クライアントトリガー	割り当て	クライアントタスク「ESET製品の...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:27:03	クライアントトリガー	割り当て	クライアントタスク「ESET製品の...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:27:03	クライアントトリガー	割り当て	クライアントタスク「ESET製品の...」	成功	Administrator
2020/12/18 14:26:58	クライアントトリガー	作成	説明「即時実行のタスク」 「ESET製品の設定エクスポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:26:56	クライアントトリガー	作成	説明「即時実行のタスク」 「ESET製品の設定エクスポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:26:26	クライアントトリガー	作成	説明「即時実行のタスク」 「ESET製品の設定エクスポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:26:20	クライアントタスク	作成	タイプ「ESET製品の設定エクスポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:26:20	クライアントタスク	作成	タイプ「ESET製品の設定エクスポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:26:19	クライアントタスク	作成	タイプ「ESET製品の設定エクスポート」	成功	Administrator
2020/12/18 14:19:43	シングルサインオントークン	シングルサインオントークンの... クライアントタスク「クライアントタス...」	ネイティブユーザー「Administrator...」	成功	Administrator



## 8. モバイルデバイス管理機能(iOSデバイスの管理)

**Canon**

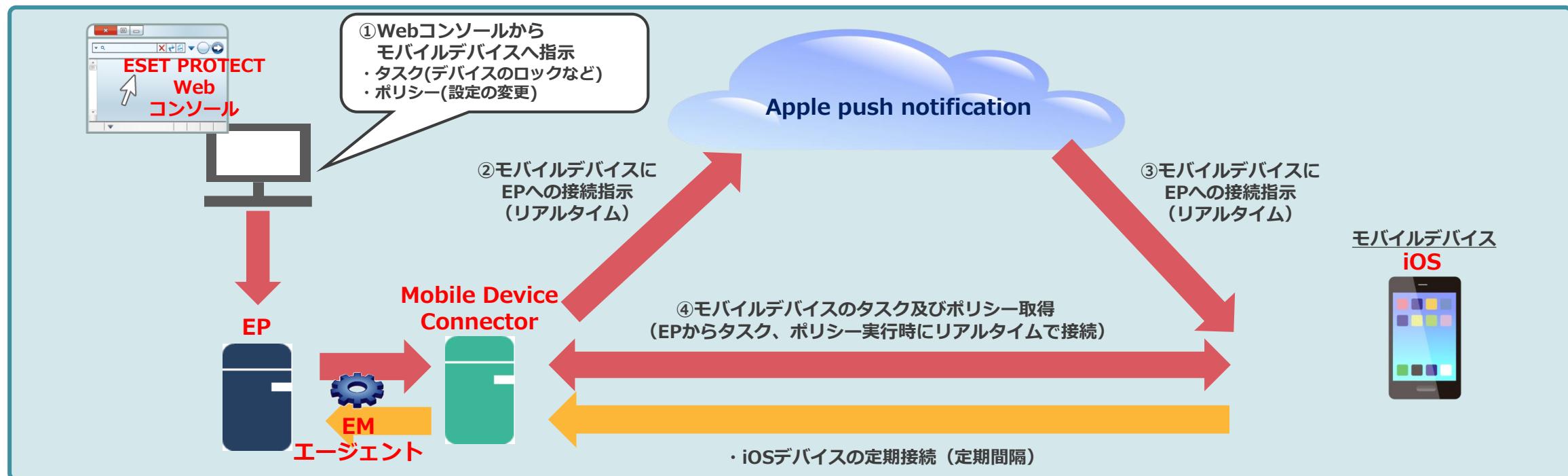
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 8. モバイルデバイス管理機能(iOSデバイスの管理)



EPではiOSデバイスを管理することができます。EPにiOSデバイスの登録、iOSデバイスにプロファイルをインストールすることでiOSデバイスを管理することができます。

iOSの管理ではEPからiOSデバイスへタスクを実行することで、iOSデバイス情報の取得、iOSデバイスを紛失した場合にデバイスのロックなどのアンチセフトを行うことができます。また、ポリシー機能を使用することでEPからiOSデバイスの設定変更やアプリケーションの制御を行うことができます。



※本機能は、「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」および「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」ではご使用いただけません。

# 8. モバイルデバイス管理機能(iOSデバイスの管理)



EPのコンピューター一覧よりiOSデバイスの一覧および、デバイスの詳細情報を確認することができます。詳細情報ではiOSデバイスの以下情報が確認できます。

- ・メーカー
- ・モデル
- ・OS情報
- ・IMEI
- ・ESETライセンス情報

## iOSデバイス情報の閲覧

コンピューター一覧画面

コンピューター

グループ

すべて (21)

A008-38 (4)

LOST+FOUND (6)

Windows コンピューター

Linuxコンピューター

Mac コンピューター

古いウイルス定義データベースのコ

古いオペレーティングシステムのコ

問題のあるコンピューター

アクティベーションされていないセ

モバイルデバイス

Androidデバイス

iOSデバイス

iOS DEPデバイス

サブグループの表示

プリセット

iOSデバイス (3)

- Test\_iPhone
- iPhone\_demo
- iPhone6\_20190404

確認したいデバイスをクリックすることで詳細情報を閲覧することができます。

コンピューター詳細画面

概要

コンフィグレーション

ログ

タスクの実行

インストール済みアプリケーション

アラート

質問

脅威と隔離

詳細

デバイスID

IMEI

OS情報

OSタイプ	iOS
OSバージョン	12.3.1
OS名	iOS
OSサービスパック	n/a
OSプラットフォーム	n/a
OSロケール	n/a
OS言語	n/a
OSタイムゾーン	n/a

# 8. モバイルデバイス管理機能(iOSデバイスの管理)



EPからiOSデバイスに以下のタスクを配信することができます。

アンチセフトアクションを使用することで、iOSデバイスを紛失した場合にEPから、iOSデバイスのロックやワイプをさせることができます。

## iOSに実行可能なタスク

タスク名	説明
ESET製品の設定のエクスポート	iOSに適用されたポリシーをエクスポートしてEPで表示します。
アンチセフトアクション	iOSでは以下の5種類のアクションの選択が行えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・発見(ロストモードのオン) ※</li><li>・ロストモードのオフ</li><li>・ロック</li><li>・ロック解除</li><li>・ワイプ</li></ul> ※DEPをご利用の場合のみ
製品のアクティベーション	アクティベーションを実行します。
管理の停止	アクティベーションを解除して、iOS端末の管理を停止します。



# 8. モバイルデバイス管理機能(iOSデバイスの管理)



EPからiOSデバイスのポリシーで管理できる項目は以下の通りです。

iOSデバイスに対して設定の変更や、デバイス、アプリケーションの使用を制限することができます。

## iOSの管理機能一覧

項目	詳細
パスコード	パスワード文字ルール、変更日数、ロック時間、失敗回数など
デバイス機能	アプリインストール、カメラ使用、FaceTime使用、Siri使用、ロック画面の表示内容、スクリーンショット使用、アプリ内購入など
AIRPRINT	AirPrintの使用の許可、AirPrintの資格情報の保存などのAirPrintに関する制御
ICLOUD	バックアップ、データ同期、写真共有などの使用制限
セキュリティとプライバシー	診断データの送信、証明書、ドキュメント、TouchIDデバイスロックなどの使用制限
アプリケーション	iTunes Store、ゲーム、Safari、メディア再生などの使用制限
その他	証明書、AirPrintプリンタ、アクセスポイント、Wi-Fi、VPN、各アカウントなどの設定

ポリシー設定画面  
(ESET Mobile Device Management for iOS)

ESET Mobile Device Management for iOS

パスコード

制限

その他

シンプルな値は昇順、降順、または繰り返し文字シーケンスです

シンプルな値を許可

パスコードが必要

英数字の値が必要

最低パスコード長

複雑な文字の最低数

最大パスコード経過時間(1-730日、またはなし)

最大自動ロック時間(分)

パスコード履歴(1-50パスコード、またはなし)

デバイスロックの最大猶予期間



## 9. ESETクライアント管理 クラウド対応オプション

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 9. ESETクライアント管理 クラウド対応オプション



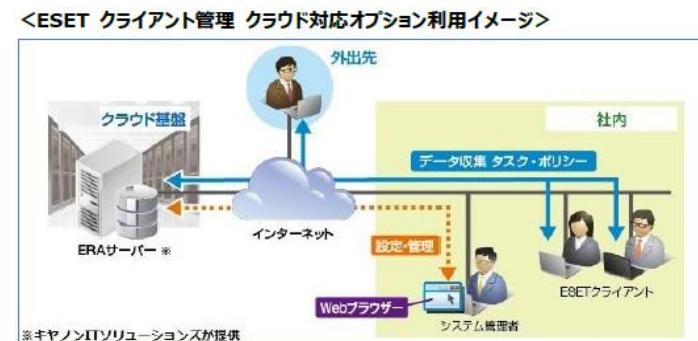
管理用プログラム(※)をクラウド上で提供するオプション製品を以下の2つのラインナップで提供しております。

- ・「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」
  - ・「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」

クラウド対応オプション製品では、クラウド上の管理サーバーを使用するので、社内にサーバーを設置することなくクライアント管理を行うことができます。

## 製品特長

- ・お客様のサーバー機器購入および定期的なメンテナンスによる手間とコストの削減ができます。
  - ・サーバー機器調達や構築期間を気にすることなく、すぐにESMCをご利用いただけます。
  - ・サーバーの構築作業がなく、簡単にセットアップが完了できます。
  - ・WEBブラウザーでいつでもどこでもクライアント端末を簡単に管理できます。
  - ・マルチプラットフォーム（Windows/Mac/Linux/Android）対応で、あらゆる機器を一括管理できます。  
※ 「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」では、モバイル端末の管理はできません。



※クライアント管理用プログラムは、ESET Security Management Center V7.2でご提供しています。（2021年2月現在）

# 9. ESETクライアント管理 クラウド対応オプション



クラウド対応オプションは、サーバーの使用方法や機能制限に以下の違いがございます。

## 「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション」

お客さまの専用サーバーで、25ライセンス以上のお客さまがご利用いただけます。

## 「ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite」

他のお客さまとの共用サーバーで6~249ライセンスのお客さまがご利用いただけます。

	ESETクライアント管理 クラウド対応オプション	ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite
動作サーバー	専用サーバー	共用サーバー
管理可能なクライアント 端末数	25ライセンス~	6~249ライセンス
ログ管理機能	○	○
クライアント管理機能	○	△ (モバイルデバイスを除く)
お客さまごとの データバックアップ	○	× (共用サーバー全体でのバックアップは 実施)
メール通知	○	×
レポートのダウンロード	○	○

※機能制限について、詳細は以下のWEBページをご参照ください。

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4497?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4497?site_domain=business)

# 9. ESETクライアント管理 クラウド対応オプション



## 接続環境

クラウドオプションまたはクラウドオプションLiteでクライアント管理するためには、以下の接続環境が必要です。

①クライアントをクラウドオプションのESMCで管理するためには、クライアント用プログラム、および、管理画面利用端末からESMCの以下のポートへ接続できる必要がありますので、ご注意ください。

- ・ 2222/TCP : ESET Managementエージェント (EMエージェント) がESMCと通信する際に利用
- ・ 443/TCP : ESMCが管理画面利用端末からのWebコンソールアクセスを受ける際に利用
- ・ 80/TCP、443/TCP : 検出エンジンのアップデート用サーバーがクライアント用プログラムからのアクセスを受ける際に必要

### 【HTTPプロキシ経由する場合】

- ✓ HTTPプロキシがESMCで利用するTLS/SSL通信 (2222/TCP) を転送できること
- ✓ HTTP CONNECTメソッドをサポートしていること
- ✓ プロキシ認証を必要としないこと (ユーザー名/パスワード設定不可)
- ✓ プロキシサーバーから上記ポートへ通信できること

クラウドオプションでモバイルデバイスを管理するためには、以下の接続環境が必要です。

※クラウドオプションLiteでは、モバイルデバイスの管理を行うことはできません。

### 【Android OSのモバイルデバイスを管理する場合】

- ✓ 9980/TCP : モバイルデバイスをESMCに登録する際に利用
- ✓ 9981/TCP : モバイルデバイスがESMCと通信する際に利用
- ✓ 5228/TCP、5229/TCP、5230/TCP : モバイルデバイス (Android OS) がFirebase Cloud Messagingへ接続する際に利用

# 9. ESETクライアント管理 クラウド対応オプション



## 禁止事項

クラウドオプション、もしくはクラウドオプションLiteをご利用いただく場合、以下の事項を禁止しております。

- ①EMエージェントの接続間隔を20分未満へ変更
- ②一日に合計30MB以上のレポートファイルをダウンロード
- ③一日に合計1,000通以上を通知させる送信設定（クラウドオプションのみ）
- ④存在しない電子メールアドレスや不要な電子メールアドレスの設定（クラウドオプションのみ）
- ⑤モバイルデバイスを管理するために表示されるESMCへの操作（クラウドオプションのみ）

クラウドオプションの場合、ESMCの管理画面のコンピューター一覧に、管理対象の端末としてサーバー自体が表示されています。  
ESMCサーバーに対する下記の操作は、クラウドオプションの運用管理に支障をきたしますので行わないでください。

1. コンピューターのシャットダウンタスクによるESMCサーバーのシャットダウンおよび再起動
2. オペレーティングシステムのアップグレードタスクによるESMCサーバーのOSのパッチ等のアップデート
3. 管理の停止タスクやアンインストールタスクによるESMCサーバー自身のEMエージェントのアンインストール
4. ESMCコンポーネントアップグレードによるESMCサーバー自体のアップグレード
5. コマンドの実行タスクによるESMCサーバー自身に対する任意のコマンド実行
6. 初期設定されているESMCサーバーのポリシーの変更及び削除
7. ESMCサーバーの削除
8. ESMCサーバーが所属する静的グループの変更